

防火・耐火試験装置

社会のニーズの多様化にともない、安全性、省エネ性、装飾性など新しい機能をもった製品が次々と開発され、これら新建材の防火・耐火性能の確認が必要となります。

この装置は、建築基準法に基づいて行う建築構造部分等の防火または耐火の性能を試験するために使われるものです。

熱源は天然ガスで、炉内温度の調整はバーナー点火より昇温まであらかじめ設定した温度曲線により、自動運転できる機構となっています。

試験装置の仕様と性能

加熱寸法(mm)	W3,300×H3,300
燃焼装置	フラットフレームバーナー16基
熱源	燃焼用バーナー LNG (天然ガス)
加熱温度	最高 1,100℃

